

新勅撰和歌集

卷第三

夏歌

題しらず

よみびとしらず

草ふかきあれたるやどのともし火の
風にきえぬはほたるなりけり

卷第十七

雑歌二

述懐歌のなかによりみ侍りける

侍従具定

あつめこしほたるも雪も年ふれど
身をばてらさぬひかりなりけり

「国歌大観」より